

花まつり

花まつりは、お釈迦様の誕生をお祝いする行事です。この世で仏となり真理のみ教えを説かれたお釈迦様の誕生を讃え、花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそいでお祝いをします。

子ども達は、家庭から持参した花で花御堂を飾っていききました。歩きの方は保護者と一緒に、ロータリーやバスの利用者は、担当教職員と一緒に飾りつけました。お陰様で、色とりどりの綺麗な花で飾られた花御堂が完成しました。各ご家庭のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

完成した花御堂を遊戯室に運んで、花まつりのお勤めをしました。導師として筑女大の小林准教授にきていただき、全学年が遊戯室に集まって開催することができました。

年長の代表による献灯・献花・焼香から、お勤めが始まりました。導師の小林先生からの法話では、かけがえのない自分自身を大切にすること、また、お家の人やお友だち、先生など、皆を大切にすること等を話してくださいました。



バラ科のフルーツ…バラエティ

え？バラ科のフルーツ？そんなフルーツ、あるの？と、思われる方がいるかもしれません。ところがこのバラ科のフルーツは、意外なほど私たちの身近にあるのです。春を代表する梅、桃、桜はバラ科です。では、幼稚園にあるバラ科のフルーツを紹介します。現在、実をつけているものです。



ユズラクメ



スモモ



ビワ



アーモンド



モモ

幼稚園には、これ以外に、ナシ、サクランボ、姫リンゴ、イチゴがあります。バラエティに富んだバラ科です

スーパーフード よもぎ



5月11日(木)に年中が「よもぎとお豆腐のミニマフィン」作りをしていました。

春が旬のよもぎは、日本全国の野原や土手、アスファルトの隙間にさえ芽を出す生命力旺盛な植物です。幼稚園にも自生しています。古くからお灸のもぐさや薬草として使用され、それ以外にも、草餅やよもぎ団子などの和菓子、よもぎを使ったケーキや焼き菓子などの洋菓子などの食用として幅広く使用されています。

まさに、スーパーフード「よもぎ」です。

コロナ禍のため調理を伴う活動は控えていましたが、今回、換気やマスク等の感染対策を講じながら実施しました。衛生上、自生のよもぎではなく、よもぎ粉を使用してマフィン作りに挑戦していました。登園時から今日のマフィン作りを楽しみにしていた年中の子ども達。香りと緑の色合いを楽しんでいたようです。機会があれば、ご家庭でも挑戦してみてください。



四つ葉のクローバー



5月4日は「みどりの日」でした。

「みどりの日」に相応しく、百年の森や園庭の樹木の緑がまぶしい季節になってきました。また、一昨年に種蒔きしていたクローバー(正式名称: シロツメクサ)が、裏庭一面に生えています。このクローバーの小葉(1枚の葉を構成する小さな葉)は3枚ですが、極まれに4枚以上の枚数のものがあります。見つけると幸せになると言われる「四つ葉」のクローバーを探したくなりますが、意外と見つからないものです。ネットのアンケート調査(2022年)では、「ほとんどの人が探した経験はあるものの、約2割の人は一度も見つた経験がない」との結果が報告されていました。

では、通常三つ葉のクローバーですが、なぜ四つ葉ができるのでしょうか?

クローバーの茎は、上に伸びずに地上をはうようにして伸び、本来は踏みつけられることに強い植物ですが、人通りの多い所でたくさん踏まれると、茎の先端などの成長の速い部分が傷つけられることがあります。これが原因で葉が四枚の四つ葉ができるといわれています。このため、道端などの特に人通りの多い場所で探せば、四つ葉は比較的に見つけやすいといわれています。

お子さんと公園に行かれた時には、一緒に探してみたいかがでしょうか。